

日本鉄鋼協会・日本金属学会 中国四国支部

第 48 回 材質制御研究会

— X 線, 中性子, 放射光を用いた応力・ひずみ評価の最前線 —

X 線や中性子を用いた残留応力測定は長年研究されている分野ですが, 近年, 各種材料の使用条件が過酷さを増す中で, 材料に蓄積されたダメージを非破壊的に評価できる技術としての価値を高めています. また, SPring-8 に代表される放射光による応力・ひずみ測定技術は, 従来よりも狭い領域の分析を可能にし, 応用範囲を広げています. 本研究会においては, この分野の第一線で活躍しておられる 4 人の研究者をお招きし, 最近の研究成果についてご紹介いただきます.

日時: 2013 年 12 月 16 日 (月)

場所: 徳島大学 常三島キャンパス (徳島市南常三島町 2-1)

会場: 工学部機械棟 M613 (ゼミ室 5)

- 13:00~13:05 開会挨拶 岡田 達也 (徳島大学)
座長 岡田 達也 (徳島大学)
- 13:05~13:35 中性子と X 線を用いた繊維強化複合材料の非破壊応力評価
西田 真之 (神戸高専)
- 13:35~14:05 鉄鋼基板上に被覆した TiN 薄膜の残留応力と熱的緩和
松英 達也 (新居浜高専)
- 14:05~14:15 休憩
座長 西田 真之 (神戸高専)
- 14:15~14:45 結晶粒径の異なる銅薄膜のヒロック形成温度と初期残留応力の関係
日下 一也 (徳島大学)
- 14:45~15:15 放射光を利用した微小部のひずみ評価
城 鮎美 (原研)

参加申込

氏名・所属・連絡先 (E-mail) を明記の上, 12 月 12 日までに E-mail にて下記へお申し込み下さい.

参加費: 無 料

申込・問合せ先: 徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部 岡田 達也

TEL: 088-656-7362

E-mail: tatsuya-okada@tokushima-u.ac.jp

アクセス: 徳島大学 HP (<http://www.tokushima-u.ac.jp/access/>) をご覧下さい.